



国際会長 (IP) Joan Wilson (カナダ)

“Our Future Begins Today”

「私たちの未来は、今日より始まる」

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 利根川 恵子 (川越)

「明日に向かって、今日動こう」

“For the Future, Act Today!”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「あなたが退会しない理由は？」 ～明るく・楽しく・元気よく～

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

会長 金子 功  
副会長 舟田 正夫  
書記 伊藤 誠彦  
会計 古田 和彦  
直前会長 松島 美一

監事 松島 美一  
ブリテン 高田 一彦  
担当主事 青木 一弘

### <今月の聖句>

古賀健一郎

「その後、わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。  
あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見、  
若者は幻を見る。」

(ヨエル記3章1節～5節)

ちこちから讚美歌が聞こえてきて、毎年喜ばしいひと時を過ごしている。

ところで、この日には、墓前礼拝とともに、この1年の間、天に召された方々の埋葬を行っているが、このごろは自分の墓地があっても、教会墓地に埋葬を希望する人が増えている。さらに、自家の墓地をたたんで、一家全員を教会墓地に移す人も出てきている。少子化のなか、将来とも墓地を維持していくことが困難になってきている家が増えており、教会墓地だとイースターには皆に覚えてもらうことができるからだ。

昨年のことである。一人の婦人が突然教会に来て相談を受けた。自分の祖先の墓地が東京の青山にあるが、かなり立派な墓地で、どうやらキリスト教の有名な牧師だったとのことである。自分は独身で後継者がいない。墓地をいずれ閉じなければならぬが、キリスト教関係者を探して相談したところ、横浜海岸教会に行けと言われた。眠っているのは奥野昌綱という。奥野昌綱は明治初期における当代随一の教養人で、宣教師へボンの日本語教師をすることからキリスト教と関係を持ち、1872年、横浜海岸教会の前身、横浜公会で洗礼を受けた最初の信徒の一人であるばかりでなく、へボンと協力して聖書の翻訳を行い、また、讚美歌を多く作詞している。何よりも記憶されるべきことは1877年に日本人として最初の教師按手礼(牧師の資格)を受け、生涯をキリスト教伝道にささげた人である。

相談の結果、奥野昌綱の名を教会墓地の墓誌に留め、永く覚えることとした。奥野にしてこうである。そろそろ死後のことも決めなければならないが、やはり、教会の共同墓地がいいのだろうか。

### ひとこと

#### 「このごろの墓地事情」

古田 和彦



私の属する横浜海岸教会では、先に天に召された方々を偲び、イースターに教会墓所の墓前にて礼拝をおこなっている。ちなみにイースターとは十字架にかけられて死んだイエス・キリストが3日目に復活したことを記念・記憶する、キリスト教徒

にとって最も大切な祝日である。「春分の日の後の最初の満月の次の日曜日」と定められているため、クリスマスと違い、年によって日付が変わる。今年は4月16日になる。私たちの教会墓地は上大岡の市営墓地の中にあるが、教会墓地の一角がキリスト教会・教徒で占められていて、わが教会同様、イースターに墓前礼拝をおこなう教会がいくつかあり、あ

## ＜2017年3月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F	
19名 (功労 会員1 名を含 む)	メン 14名	78 %	今月分	
	メネット 4名	(メーキャップ	切手	0g
	コメント 0名	名を含む)	現金	0円
	ビジター 0名		年度累計	
	ゲスト 2名	前月修正出席	切手	0g
	合計 20名	率	現金	0円

## ＜4月の行事予定＞

### 強調月間【LT (Leadership Training)】

日	曜	時間	行事内容	場所
8-9	土		第3回東日本区役員会	川越
13	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
27	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央Y

## 「3月例会報告」

大高 治

日時 : 3月9日 (金) 18:30~20:30

場所 : 横浜YMCA 501号室

出席者: 青木、伊藤メン・メネ、今村、大高、押川メン・メネ、金子メン・メネ、神村メン・メネ、古賀、齋藤、高田、野村、舟田、古田、松島

(ゲスト) 堀井明氏、瀧龍一氏

1. 開会点鐘及び挨拶 ..... 金子会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 ..... 全員
3. 今月の聖句 ..... 今村ワイズ

「愛は行動を伴うことが重要」

4. ゲスト・ビジター紹介 ..... 金子会長

①堀井 明氏 澤田美喜記念館職員

②瀧 龍一氏 元関内クラブ・メンバー

5. 食前感謝 ..... 今村ワイズ

6. 食事

7. 卓話 堀井明氏 澤田美喜記念館職員

「澤田美喜のもう一つの業績、隠れキリシタンの遺物」

- ① 澤田女史が記念館設立に至る経緯について詳しい説明。
- ② 収集された遺物の写真とその説明。
- ③ 隠れキリシタンは五島列島中心の九州のみでなく、千葉、神奈川 (鎌倉、相模など)、茨城 (花園村)、京都、大阪、キリストの墓あるという青森で、寺や神社内に隠れて点在していたことに多くのメンバーが驚嘆。
- ④ 奇しくも文芸春秋3月号に「世界遺産に戸惑うかくれキリシタン」という題のドキュメントが掲載されていました。かくれキリシタンの信仰を守り続ける組織の最高責任者 (大将) はその心構えを「キリスト教が初めて伝来したときの信仰を、弾圧の中で守り続けてきた歴史こそが重要だと思います。私たちは先祖を誇りに、いまでも信仰を守っています。禁教令が解けたのだから、カトリックになればと

言われることもありますが、そうではない。先祖が命がけで守ってきたものを、これからも正確に残し、世間にも伝えて行きたいです」と述べ、結びとしています。

8. ビジネス・報告 ..... 金子会長  
平岡さんより2月24日のスピーチコンテストの報告があり、審査員を務めた古賀ワイズ、齋藤ワイズから「感動的」、「優れた行事」との感想が述べられ、今後は「広報の材料に」との発言もあった。

9. Happy Birthday ..... 金子久子(3)、金子功(10)、高田一彦(22)、古田和彦(22)

10. 閉会点鐘 ..... 金子会長  
(ロバ献金: 16,800円)



紹介される堀井明氏(卓話者)と瀧龍一氏(右)

## 第76回Y-Y' s 協議会報告

金子 功

第76回Y-Y' s 協議会が3月7日 (火) 午後7:00より横浜中央YMCA 501号室で開かれた。今回は金沢八景クラブが担当。開会礼拝は井上担当主事の司会で行われた。開会礼拝で引用された聖句は2017年度の基本聖句「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む。」(ローマ信徒への手紙5章3節~5節)であった。

議事は金沢八景クラブ高橋徳美会長によって進められた。田口総主事と若木湘南・沖繩部長の挨拶に引き続き、田口総主事より横浜YMCAの2017年度における事業方針の説明があった。要旨は全国YMCAと共に展開するブランディングの推進、ならびに横浜YMCAが掲げるVISION2020の達成に力を注ぎ①ユースデベロップメント、②ヘルシーリビング、③社会貢献を推進するとの事であった。

報告事項ではYMCA側から①2/11の会員大会、②チャリティーゴルフ、③今年度の国際地域協力募金の現況、④YMCAブランディングの現況が; ワイズ側からは①合同新年会、②部長沖繩訪問、③東西ワイズメンズクラブ交流会が報告された。

クラブ報告では、横浜クラブは①2/24に開催された日本語スピーチコンテストについて報告したほか、7/19日からタイのチェンマイで開催されるアジア太平洋地域ユース・コンボケーションに参加するユースの推薦についてYMCAからの情報提供を要望した。当日の出席者: ワイズ側; 15名、YMCA側6名; 横浜クラブ出席者: 金子、田口。次回予定は6月6日 (火)、横浜つづきクラブ担当。

## ＜次期会長・部役員研修会 報告＞

伊藤 誠彦

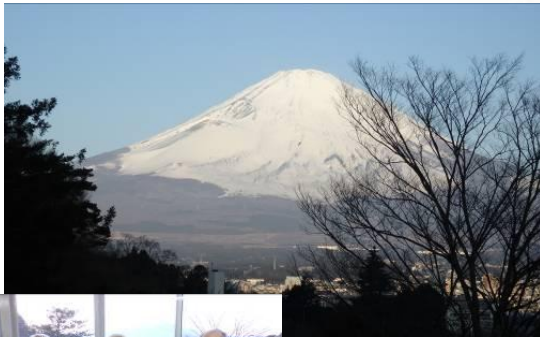
2016-17年度の標記研修会が3月4-5日、東山荘で開催されました。次年度は金子部長年度とあって、舟田新会長をはじめ、次期部役員として、金子部長、松島書記、伊藤会計、大高地域奉仕主査と多数出席しました。

研修は伊藤幾夫LT委員長をはじめ、LT委員の方々が周到に準備下さったもので、厳格な時間管理の下、滞りなく全カリキュラムが終了しました。利根川理事の現況報告、栗本次期理事の理事方針などを通じて特に強調されたのは「会員増強」でした。



途中、出席者全員での野外における記念写真撮影のあと、グループに分かれて、事業方針ごとの討議、その後、夕食懇談会。夜は、部単位で部長を囲んで、お酒も少し飲みながら座談会。1日目だけの出席で、夕食後には帰路についていた人も

いたため、湘南・沖縄部は少し人数が少なくなりましたが、



富士山を背に？舟田、金子、鈴木、松島ワイズ

それでも金子次期部長を囲んで楽しく時間をすごしました。

2日目は、事業主査や部書記・会計の役割に関する説明の後、2

グループに分かれて討議、定刻の12時半頃閉会しました。

研修参加にあたって、前日まで体調が心配された松島ワイズが、時間を追うほどにお元気になられ、食欲も旺盛で、帰る頃にはすっかり元気になられたのは嬉しい驚きでした。行き帰りとも舟田さんと共に御殿場線に乗ってご一緒させていただきましたが、若い頃、御殿場線で度々、東山荘に出向かれていたとか、その頃のことを思い出してお元気になられたのかも・・・松島ワイズの話では、昭和9年に丹名トンネルが開通するまで、御殿場線は東海道線の一部だったとか、昭和9年と言えば松島ワイズの生れ年、これも何かのご縁かも。

## 「鎌倉クラブ創立25周年記念例会報告」

金子 功

3月25日（土）鎌倉ワイズメンズクラブの創立25周年記念例会が鎌倉市福祉センターで行なわれた。例会には、利根川理事初めDBCの芦屋クラブならびに足利クラブの代表者、在京および湘南沖縄部の各クラブ代表者を含め総勢50名以上が参加した。

池田光司会長の開会点鐘、挨拶に引き続き、卓話では阿部志郎先生より、「手を取り合えば、もっと多くのことができるーワイズは出会いの場」と題して数々の例証から市民社会、福祉社会のありようを解き明かしていただき、人格を尊重し、良き出会いを提供するワイズダムを評価するお話をいただいた。1時間以上にわたって原稿もなしにとんと語られる阿部先生のお話には誰も引き込まれ感銘を受けた。

暫くの休憩の後、参加者の紹介、挨拶を経て、地元の老舗の桜もち、瓦せんべいを賞味しながら池田会長の編集による鎌倉クラブの歴史を彩るスライドショーを楽しんだ。

例会後は場所を小町通りにある「鎌倉食堂」に移動して懇親会が催された。又当日のために用意された40ページの記念誌が全員に配られた。横浜クラブからは金子が代表して参加した。

## 「夏目漱石を読む」

松島 美一



夏目漱石没後百年を記念して、昨年、朝日新聞は主要作品を朝刊に連載した。連載は今日（3月28日）「吾輩は猫である」最終回とともに終わった。昨年は「三四郎」「こころ」「それから」「門」等々の作品が連載された。これらはすべて百数年前に

朝日新聞に連載された作品だそうである。

私も中、高、大学生時代にこれらの作品を何回か読み、感激した記憶がある。今回も楽しみにして毎日読んだが、往時の感激はなかった。その理由は何だろう。

私の感性が歳と共に衰えているのだろうか。あるいは学生時代は1作品を1日乃至数日の間に集中、熱中して読んだが、今回は細切れで毎日少しずつ読んだのが原因だろうか。もっともこれらの作品は新聞連載で最初の読者達は細切れ読みだったはずだ。

私は最近の五十数年の朝日新聞の連載小説はすべて読んでいる。ただ感激と共に記憶に残っているのは吉村昭「天狗争乱」の他は多くはない。新聞の連載小説と言う形式が短期記憶能力の衰えた老人には向かないのだろうか。本を途中まで読んで、先を知っているような気がして調べると、新聞連載で読んでいたと知った経験は何度かある。

半年か1年してもう一度漱石作品を固め読みして確かめようか。

## 第二例会報告

松島 美一

日時：3月23日(木) 17:00～18:37  
場所：中央YMCA 501号室

出席者：青木、伊藤、大高、金子、古賀、高田、古田、松島  
協議・確認事項

- 3月～7月のワイズメンズクラブ関連行事予定確認。
- 富士山YMCA 10周年記念事業募金の件。横浜クラブとしては会計ファンドから30万円を直ちに拠出する。この他にロバ献金から20万円を目標に拠出するが、ロバ献金額が所定の募金期間までに目標額に到達しない場合には未達分を会計ファンドから補填する。
- 一泊研修会は5月26～27日に上郷・森の家にて行う。総合テーマは「これからの横浜クラブのあり方」、卓話講師は高田一彦ワイズとする。スピーチコンテストの経験を基にクラブ独自のコミュニティー・サービスのあり方を考える。
- 藤沢智晴ワイズから例会出席困難を理由に退会の申し出があった。同ワイズのタレントは貴重であり、退会を認めるのは惜しいとの意見があり、第2木曜の通常の例会に出席できなくても、特別の会やアイデアで奉仕する道があるとして、会長が慰留することにした。
- 竹内敏朗さんの「お別れ会」は横浜YMCA会員総会および当クラブの研修会と同日であり会員の出席が困難である。クラブとしては会長名で弔電を送ることにした。
- 部則改正案の資料を参照しつつ意見交換を行った。4月1日の部則検討委員会では金子会長に（この意見を基にして）クラブの態度を一任することとした。
- 4月13日の例会の卓話は横浜銀行細田順太郎氏にお願いした。
- 4月2日の大阪長野クラ40周年記念会にはお祝いメッセージを送ることにした。
- 次年度のブリテンは野村郁雄ワイズの了承を得た上で、原稿集めを古賀ワイズ、割り付け作業を野村ワイズが行う体制をとることにした。

### 25Kgのプルタブ送付

3月9日、プルタブ25Kgを東日本区に送付しました。有志が集めたものですが、その大部分は、今回も、菅沼義久元ワイズが集めて下さったもの。菅沼さん、有難うございました。



担当主事 青木 一弘

### ●2017年度 横浜YMCA基本聖句の紹介

苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む。  
(ローマの信徒への手紙5章3節～4節)

2017年度は、YMCAのブランドバリュー（社会に約束する価値の共有化）に沿ったプログラムの点検、評価を行い具体的に実践していきます。特に社会のネガティブな部分に目を向け、寄り添い、できることを考え続け、知恵を積み重ねながら希望を生み出す働きを目指していきます。「ブランディング元年」となる歴史的な年を、皆で協働し、共に行動していきたいと思っておりますので、本年度もご支援・ご協力をお

願います。

### ●横浜YMCA 3. 11を忘れない活動報告

県内のYMCA活動拠点で、3. 11東日本大震災を忘れないための活動や取り組みが行われました。これからもYMCAでは、東日本及び熊本大震災被災地・被災者のための支援活動を継続していきます。引き続きご支援をよろしくお願い致します。

### ●ピンクシャツデーの報告

2月22日（水）に、横浜YMCAではピンクシャツデーに取り組みました。多くの子どもたちが「人の気持ち」を考えるきっかけとなり、大人たちはこれからの社会を変えていくために行動をしました。「いじめ撲滅」までの道のりは簡単ではないのかもしれませんが、しかし、社会全体がいじめに対して高い意識を持ち、いじめの被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者」とならないことが、いじめられている子どもを救うことになると考えます。横浜YMCAの各ブランチではピンクのシャツや小物を身に付けて「いじめのない世界をつくろう」と訴え、多くの皆さんが「いじめ」について考え、自分のこととして考えた1日になりました。

### 4月例会プログラム

日時： 4月13日（木） 18:30～20:30  
場所： 中央YMCA 501号室

司会：高田ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 . . . . . 金子会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 . . . . . 全員
3. 今月の聖句 . . . . . 古賀ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 . . . . . 金子会長
5. 食前感謝 . . . . . 古賀ワイズ
6. 食事
7. 卓話 「横浜銀行のブランディング・CSRについて」  
横浜銀行総合企画ブランド・CSR推進グループ  
グループ長 市川達也氏
8. ビジネス・報告 . . . . . 金子会長
9. *Happy Birthday* : 大江なおみ (2)
10. 閉会点鐘 . . . . . 金子会長

例会報告：舟田ワイズ

### 5月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
26	金	14:00	横浜クラブ第2例会	上郷森の家
26-27	金	15:00	第一例会兼一泊研修会	上郷森の家
27	土	17:00	横浜YMCA会員総会	とつかY

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。  
メール [aoki\\_kazuhiro@yokohamaymca.org](mailto:aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org)  
電話 045-641-5785